

第17回 日本介護支援専門員協会 九州・沖縄ブロック研究大会 in 福岡
(第9回 福岡県介護支援専門員協会 研究大会)
分科会演題応募要領

1. 大会メインテーマ

未来につなげる道標 ～変わらない想いと変える未来～

2. 開催日時及び開催場所

令和7年12月13日(土) 12時30分 ～ 18時00分

福岡国際会議場 (〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1)

3. 当日開催プログラム

11:30	受付開始
12:30	開 会 式 開会宣言、主催者挨拶、来賓挨拶
13:00	日本介護支援専門員協会 活動報告
13:30	休憩・分科会会場移動・展示ブース見学
14:00	分科会 14:00-14:10 分科会オリエンテーション 14:10-14:40 演題発表1 (発表15分 質疑応答・助言10分 予備5分) 14:40-15:10 演題発表2 (発表15分 質疑応答・助言10分 予備5分) 15:10-15:40 演題発表3 (発表15分 質疑応答・助言10分 予備5分) 15:40-15:55 分科会まとめ
15:55	休憩・会場移動・展示ブース見学
16:10	基調講演
17:45	次回開催県挨拶
17:50	閉会式(閉会挨拶)
18:00	閉会
18:30	情報交換会(懇親会)

4. 応募資格

日本介護支援専門員協会会員であること

(共同研究者については、この限りではありません)

5. 当日集合時間及び集合場所

開催日当日は、11時00分より打合せ会を行います。

来場されましたら受付担当者にお声かけ下さい

※昼食は、事務局にて準備しますので、持参いただく必要はありません。

6. 分科会テーマ及び発表時間

分科会名	分科会テーマ
第1分科会 発表時間15分 質疑応答等10分 (一人あたり)	多様化・複雑化する課題への対応 座長:鹿児島県 発表:福岡県 大分県 長崎県
第2分科会 発表時間15分 質疑応答等10分 (一人あたり)	生産性を高めるチームマネジメント 座長:宮崎県 発表:熊本県 鹿児島県 佐賀県
第3分科会 発表時間15分 質疑応答等10分 (一人あたり)	新たな業務のあり方 座長:長崎県 発表:福岡県 沖縄県 宮崎県

※各分科会テーマ主旨については、**19. 分科会テーマ趣旨**にてご確認ください

7. 応募方法

※次の二次元コード(URL)から演題応募フォームを開き、必要事項入力の上、ご応募下さい。

※抄録原稿は、所定の様式(Word)を用いて作成して下さい

※PPT 資料は、所定の様式、枚数に収めて作成して下さい

※抄録原稿及び PPT 資料データは、演題応募フォームに添付欄がありますので、当該データを添付して下さい。

演題応募フォーム URL

(省略)
決定した演題発表者へ、後日個別にお知らせいたします。

8. 抄録(資料)原稿の提出にあたっての留意事項

- ① 抄録原稿等は、大会誌に掲載し、参加者に配布致します。発表者は必ず作成方法に従い提出下さい。
- ② 発表内容が現行法規に違反する取組みとならないよう事前に発表者の責任で制度確認を行って下さい。また、現行の制度では規制されているが、ご利用者の為には必要であるというようなことについては、制度提案の形で発表していただいても構いません。

9. 提出締切

令和7年9月30日(火)

10. 演題発表にあたっての費用負担

参加費・旅費・宿泊費・資料作成費・郵送費等は各自のご負担となります。

11. 抄録(資料)原稿の作成方法

(1) 抄録原稿

所定の様式(A4 サイズの用紙1枚)に沿って、内容をまとめて下さい。

※事務局から送付の様式ファイル(Word)を使用して下さい。

【抄録様式】

(サイズ等)

- ① 用紙サイズ : A4 1枚 ② 上下余白 : 20mm ③ 左右余白 : 20mm

(様式)

【見出し】

- 1行目 タイトル MSゴシック 14ポイント
2行目 サブタイトル MS明朝 12ポイント (必ずしも設ける必要はありません)
3行目 氏名 MS明朝 12ポイント / 県支部名 MS明朝 12ポイント
4行目 所属先 MS明朝 10.5ポイント
5行目 共同研究者名 MS明朝 10.5ポイント
6行目 研究目的 MS明朝 10.5ポイント
7行目 キーワード MS明朝 10.5ポイント

【発表要旨】

研究方法・研究結果・考察等 MS明朝 10ポイント
所定様式の枠内に収まるようにまとめて下さい。

(2) 当日発表用資料

発表時には、Microsoft PowerPoint のスライド資料を用いて、発表していただきます。

抄録集には、このスライド資料も掲載します。

尚、掲載にあたっては、A4サイズ用の紙に 4in1 での印刷となりますことをご了承下さい。

また、A4サイズ用紙5枚を最大枚数として掲載させていただきます。

(スライド資料の最大枚数は、20枚となります)

※Microsoft powerpoint2019 以降のバージョンで作成してください。

※Macintosh 等で作成したデータについては対応できませんのでご了承ください。

14. 抄録原稿及び当日発表用資料の作成にあたっての注意事項

【抄録原稿】

- タイトルは、発表内容を適切に表現しているものを設定してください。
- キーワードは、分科会テーマ趣旨にあるキーワードから選択して下さい
- 発表要旨は、「である調」で記し、謝辞は、不要です。
- 引用文献などある場合は、発表要旨中に明記して下さい。
- 事例や調査に基づく研究発表の場合は、データ著作者にデータの使用と公表の承諾を得ていることを発表要旨中に記述してください。
- 発表者が所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を発表要旨中に記載してください。
- 記述に際して、個人や地名、団体、学校等の特定につながる記述はお控えください。
- 抄録原稿などの内容について変更・修正をお願いする場合があります。
- 提出した抄録原稿などは、返却できませんのでご了承ください。

【当日発表用資料】

- PowerPoint を投影した際に受講者が見える程度の文字の大きさとまとめて下さい
(抄録集に印刷する際には、4in1 で印刷します。元の文字が小さければ、読み取ることができ

ませんので印刷時のことも想定した文字の大きさでまとめて下さい)

○できる限り、標準的なフォントを使用して作成して下さい

○各スライドの背景色は、できる限り、薄い色を使用して下さい。

(抄録集は白黒印刷となります。背景色が濃ければ、文字が見えにくくなります)

○文字色が薄いと印刷時に見えなくなる可能性があります。ご注意下さい。

15. 発表にあたっての注意事項

○発表にあたっては、事務局が準備したパソコンを使用し、発表者本人に操作していただきます。

○発表資料用データは、事前に事務局にて準備しますが、念のためご自身でも持参して下さい。

○発表時間は、15分とし、その後、質疑応答の時間を設けます。

16. 倫理的配慮

①事例や調査に基づく研究発表の場合は、研究に活用したデータがプライバシーを侵害するおそれのあるものについては当事者に説明し、発表について了解を得ていることを抄録(資料)中に記述してください。この記述がない事例研究発表や調査研究発表は、採択されないことがあります。

②事例や調査対象の記述に際して、個人や地名、団体、学校等の特定につながる記述をしないようにしてください。この配慮が不十分な発表は採択されないことがあり、また採択された場合であっても修正を求めます。

③発表者が所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録(資料)中に記載してください。

17. 研究大会参加申し込み【重要】

開催要綱に従い、研究大会への参加申し込みを行って下さい。この際に、研究大会参加費をお支払いしていただきます。

※開催要綱は、現在、準備中です。開催要綱が完成次第、改めて、お送りします。

18. 事前打ち合わせ【重要】

事前の打ち合わせを10月頃を目途にWEB(ZOOM)にて行う予定にしています。

詳細につきましては、別途、ご案内させていただきます。

19. 分科会テーマ趣旨

第1分科会	多様化・複雑化する課題への対応
介護保険制度において、介護支援専門員は、利用者・家族の多様なニーズ(高齢者だけでなく、若年層の障がい者や認知症患者の増加など、利用者の背景やニーズ)に応じたケアプランを作成し、サービスの調整を行う重要な役割を担っています。しかし、少子高齢化の進展や医療技術の高度化に伴い、利用者の状態はますます複雑化しており、介護支援専門員の業務も多様化・複雑化の一途をたどっています。 また医療との連携も複雑化の要因となっています。高度な医療技術の発展により、在宅医療との連携が不可欠となり、医療に関する知識や連携能力が求められています。 第1分科会では、多様化・複雑化する課題に着眼し、様々な研究や取り組み事例等を踏まえ介護支援専門員を取り巻く環境について助言者にご参加の皆さんと共に、議論したいと思います。	
<キーワード> ①介護保険制度や医療等の知識の習得について ②法改正や新たな制度の導入に対応するための知識習得 ③地域包括支援センターとの連携や地域資源の活用について ④地域包括ケアシステムへの対応について ⑤介護支援専門員の専門性の向上と幅広い分野の知識の習得について ⑥業務効率化のためのICTの活用について ⑦その他	

第2分科会	生産性を高めるチームマネジメント
介護支援専門員は、利用者のケアプランを作成し、様々なサービスを調整する重要な役割を担っています。介護支援専門員がチームを構築し、生産性を高めることは、利用者へのサービスの質の向上に直結します。多職種と共同しチームを構築することでチームマネジメントを効果的に行うことができ、介護現場の問題解決に大きく貢献することが期待されます。 また、医療機関や他の介護サービス事業所との連携を強化し、より包括的な支援体制を構築できます。 第2分科会では、チームマネジメントに着眼し、様々な研究や取り組み事例等を踏まえ介護支援専門員と各専門職との関わりや役割分担、多職種連携の強化・責任と権限について助言者にご参加の皆さんと共に、議論したいと思います。	
<キーワード> ①チームマネジメントの必要性について ②役割分担の明確化・責任と権限について ③チーム構築時のコミュニケーション等について ④チームのリーダーシップについて ⑤メンバーのスキルアップについて ⑥その他	

第3分科会

新たな業務のあり方

介護支援専門員の業務は、介護保険制度の複雑化や利用者の多様化に伴い、ますます重要性を増しています。利用者の生活の質を大きく左右する重要な役割を担っている一方で、介護支援専門員の多忙化や人材不足が深刻な問題として浮上しており、新たな業務のあり方が求められています。新たな業務のあり方を模索し、介護支援専門員がより専門性を発揮できる環境を整えることが、今後の介護保険制度の持続的な発展のためには不可欠です。

第3分科会では、新たな業務の模索について着眼し、様々な研究や取組み事例等を踏まえ介護支援専門員の専門性や人材育成、環境改善について助言者にご参加の皆さんと共に、議論したいと思います。

<キーワード>

- ①介護支援専門員の専門性について
- ②介護支援専門員の質の維持・向上について
- ③介護支援専門員の人材育成について
- ④介護支援専門員の置かれている環境とその改善について
(報酬体系の見直しやキャリアパス設計など、介護支援専門員の処遇を改善し、モチベーションの向上)
- ⑤介護支援専門員の人材不足を乗り切るために
- ⑥介護支援専門員の働き方改革について
(残業時間の削減や休日取得の促進など、働きやすい環境づくり)
- ⑦介護支援専門員の心理的な支援
(ストレスマネジメントや心のケアなど、心理的な支援体制)
- ⑧介護支援専門員のシャドウワークについて
- ⑨その他

20. 問い合わせ・連絡先

<演題応募等に関する事項>

(省略)
決定した演題発表者へ個別にお知らせいたします。
演題発表者をご希望の場合は、所属支部・ブロックの理事へご連絡ください。

<研究大会申し込みに関する事項>

(省略)
決定した演題発表者へ個別にお知らせいたします。